



遊佐町商工会報

〒999-8301 山形県飽海郡遊佐町遊佐字石田 19-18
遊佐町商工会 Tel.0234-72-4422 Fax.0234-72-4423
<http://www.yuza-shokokai.com>
平成 30 年 1 月 1 日発行 第 83 号



[白井新田より]

CONTENTS

- 経営発達支援計画で変わる商工会事業
- 若手経営者視察研修
- 情報発信セミナー
- 経営の基本を学ぶ勉強会
- 工業部会視察研修
- 庄内地区広域商談会
- 遊佐町商工会 今後の予定
- 遊佐町商工会が取り組む伴走型支援——支援事例：花 COCORO

経営発達支援計画で変わる商工会事業

遊佐町商工会が経営発達支援計画の認定を受けてから一年が経過しました。

経営発達支援計画とは、商工会が会員事業所の経営支援に取り組むにあたり、従来の記帳や税務、労働保険だけでなく、経営計画の策定から販路開拓、事業承継といった個々の事業所の経営課題の解決に向けて継続的に支援する計画です。このような支援はマラソンで競技者のそばについて走る伴走者に例えられて「伴走型支援」とも言われています。

今回は遊佐町商工会が経営発達支援計画の認定を受けてから取り組んでいる事業について紹介します。

若手経営者視察研修

遊佐町商工会の会員事業所の大多数は従業員 5 人以下の小規模事業者です。小規模事業者はヒト・モノ・カネといった経営資源に乏しいため、大企業以上に自社の強みを活かした経営が必要とされています。

そこで、11月13日～14日に小さくても強みを活かした経営に取り組んでいる県内の若手経営者を訪問し、事業の現場と経営の考え方について学ぶ若手経営者視察研修を実施しました。

視察先として訪問したのは今田製麺所（河北町）、デ・ジョワ（河北町）、穂積繊維工業(株)（中山町）、黒沼畜産(株)（中山町）、ひろなり家具（東根市）の5事業所。いずれも異業種ながら 40 歳前後の若手経営者を中心に強みを活かした特長ある経営で業績を伸ばしている事業所です。新規創業からの販路開拓やブランディング、事業承継と経営課題こそ異なるものの、共通しているのは中長期的な経営ビジョン。目の前の仕事に追われるだけでなく、常に先を見据えた一手を考え、変化し続けることが事業の成長に繋がることを学びました。



事業の現場と経営の考え方について意見交換

情報発信セミナー

スマートフォンの普及でいつでもどこでも利用できるようになったインターネット。中でも Google による検索機能はほとんどの方が利用しているのではないのでしょうか。

そこで、10月24日・25日に(株)通信技研代表取締役の遠藤裕司氏を講師にお招きして「Google を味方につける集客術」というテーマで情報発信セミナーを実施しました。

現在の Google は地図と連携したローカルページの機能が向上しており、事業所名と地名を入力すれば殆どの事業所のローカルページが表示されます。このローカルページは無料で編集できるため、ローカルページを利用した情報発信について実習を交えながら学びました。



検索結果の画面右側に表示されるローカルページ

経営の基本を学ぶ勉強会

平成 28 年度に実施して好評だった経営の基本を学ぶ勉強会を 10月10日・11月7日・12月5日の3日間にわたって(株)デ

ィセンター代表取締役の折原浩氏を講師に迎えて実施しました。

経営の基本は正しい現状分析をきちんと行うこと。正しい現状分析ができてこそ、適切な方策を打ち出すことができるという考えから、今回は特に決算書の読み方と事業計画の策定に力点を置いて実施しました。

工業部会視察研修

11月24日に工業部会視察研修として(株)大商金山牧場「米の娘ファーム」(金山町)と(株)山形メタル(新庄市)を視察してきました。

(株)大商金山牧場「米の娘ファーム」では、養豚によって発生する豚糞や食物残渣を原料としたバイオガス発電に取り組んでおり、バイオガス発電においては電気や熱の他に液体肥料も生まれるため、これらを養豚や農業に活用する循環型農業にも挑戦しています。



米の娘ファームのバイオガス発電施設

また、(株)山形メタルでは建築用金属パネルを製造しており、板金の設計、加工、塗装、検査といった一貫した生産体制を実現。県内の製造業の先進事例を視察してきました。

庄内地区広域商談会

会員事業所のこだわりの商品の販路開拓を図るために、県内・首都圏のバイヤーを招聘した商談会を10月26日に三川町なの花ホールで実施しました。

この事業は庄内地区4商工会の広域連携事業として実施しており、遊佐町からは3事業所が出展。このうち食肉加工品製造販売の竹本産業(株)とオーガニックコットン雑貨製造販売のCananaが商談成立まで結び付けることができました。

今回の商談会ではメーカーとバイヤーとのマッチングだけでなく、商談シートの作成や個別相談を通じて商品コンセプトや訴求方法についても支援しています。



ブース出展で県内・首都圏のバイヤーと商談

遊佐町商工会 今後の予定

期 日	事 業 名	場 所
1月 4日(木)	冬の市 抽選会	ゆざっとプラザ・エルパ
1月 5日(金)	冬の市 抽選会	ゆざっとプラザ・エルパ
1月12日(金)	地域経済セミナー・賀詞交歓会	パレス舞鶴
1月16日(火)	年末調整個別指導	ゆざっとプラザ
1月17日(水)	年末調整個別指導	ゆざっとプラザ
1月18日(木)	年末調整個別指導	ゆざっとプラザ
2月 4日(日)	軽トラ市 鍋合戦・酒合戦	ゆざっとプラザ
2月 9日(金)	工業部会勉強会	にぎわい創造館

※正確な情報については通知文書等でご確認ください

遊佐町商工会が取り組む伴走型支援【事例3】

遊佐町商工会では会員事業所の経営課題の解決に向けて継続的に支援する「伴走型支援」に力を入れています。

今回は伴走型支援の事例として花 COCORO 代表の高橋大介さんからお話しをお聴きしました。

花 COCORO

遊佐町小原田字沼田 12-1
ユザショッピングセンター エルパ内
Tel. 0234-72-5815
Fax. 0234-72-5815

業務内容

- ・生花小売業
- ・農産物小売業



代表 高橋大介さん

きっかけは経営革新塾

伴走型支援を受けるきっかけは経営革新塾を受講したことです。当店は家業であるクリーニング店の隣の空き店舗を活用して始めた生花店なので、それまでは生花店の経営もクリーニング店の延長線上で考えていました。しかし、商工会の職員に勧められて受講した経営革新塾でマーケティングを学ぶことにより、あらためて生花店の方向性について考える機会になりました。

マルシェをイメージした店づくり

生花店の方向性についてあらためて考えたところ、当店の経営課題としてイメージ戦略があげられました。そこで、経営計画について商工会職員と一緒に考え、小規模事業者持続化補助金を活用して店舗改装に取り組みました。店舗改装にあたっては商工会の専門家派遣制度を活用してディスプレイの専門家にもアドバイスをいただき、マルシェをイメージした店づくりに店舗改装。お客様からもお店に立ち寄りやすくなったとの声をいただき、目に見えて受注が増加しています。

コラボ商品で販路開拓

いま考えているのは、異業種の事業所とのコラボ商品です。記念日などに花束をプレゼントする需要はまだあると思うので、エルパの店舗と連携してお菓子やお酒、雑貨などと当店の花束を組み合わせたコラボ商品で販路開拓を進めていきたいと考えています。

これからも花を贈る人の気持ちを大切にして受注獲得に繋げていきたいですね。

小規模事業者持続化補助金とは？

小規模事業者持続化補助金とは、小規模事業者が経営計画に基づいて実施する販路開拓等の取り組みに対して50万円を上限に補助金を交付する制度です。

この補助金制度は平成25年度補正予算から毎年予算化されており、遊佐町商工会では過去4年間で約41件が採択されています。平成29年度においても補正予算での実施が期待されており、公募開始の際は商工会報等でお知らせする予定です。

補助金申請に係る経営計画の策定や事務手続きについては遊佐町商工会で支援しています。お気軽にお問い合わせください。